

## 情報公開文書

研究の名称	膵切除後残膵癌における診断前 CT 二次所見の探索的検討：Case-matched 症例対照研究
研究代表機関	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・職名および氏名)	富山大学附属病院 放射線部 助教 鳴戸規人
①試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	<p>この研究は富山大学臨床・疫学研究等に関する倫理審査委員会の承認および研究機関の長の許可を受けて実施しています。</p> <p><b>【研究の目的・方法】</b> この研究は、膵臓の手術を受けた方のうち、残った膵臓にその後がんが見つかった方について、がんを疑う前の CT 画像にどのような変化がみられていたかを調べることを目的としています。 あわせて、同じように膵臓の手術後に当院で経過観察を受けていた方の CT 画像とも比較し、残膵にがんが生じる前に気づく手がかりとなる画像所見があるかを検討します。 研究では、診療の中ですでに撮影されている CT 画像や診療記録を用いて、手術後からがんを疑うまでの期間に撮影された画像を解析します。新たな検査、治療、採血、追加の被ばくはありません。</p> <p><b>【研究期間】</b> 実施許可日 ～ 2027年12月31日</p> <p><b>【研究対象者】</b> 当院で経過観察を受けた、膵臓の手術後の患者さんが対象です。2016年1月1日から2025年12月31日の間に行われた膵切除後経過観察例として CT 撮像された方です。このうち、残った膵臓に新たながんが生じた方と、比較のために選ばれた、手術後に経過観察を受けていた方を対象とします。</p> <p><b>【研究資金、利益相反の状況】</b> 本研究の実施には、放射線診断・治療学講座の医局・講座費を使用します。 本研究に関係する企業等は存在しないため、本研究において申告すべき利益相反はありません。</p> <p><b>【個人情報の取扱い】</b> 氏名、診療録 ID 等の個人の識別が可能な記述は用いず、個人とは無関係な研究用識別番号を付すことで他の情報と照合しなければ個人を識別できないように加工します。加工された情報は施錠およびパスワードロックによりアクセスが制限された放射線診断科 PC で管理します。本研究に関する情報等は研究結果の最終公表後から 10 年間保管し、電子ファイルの消去（データ消去ソフト使用）により復元不可能な形で廃棄します。</p> <p><b>【研究結果の公表の方法】</b> 医学学会、雑誌での発表。</p>

	<p>【試料・情報の他機関への提供有無】 無</p> <p>【外国にある者への提供について】 該当なし</p>
②利用又は提供する試料・情報の項目	<p>【試料・情報の項目】 この研究では試料（血液や組織など）は用いません。 使用する情報は、診療録、画像情報、病情報、血液検査結果など、診療の中ですでに得られている情報です。</p>
③利用又は提供を開始する予定日	<p>【利用又は提供を開始する予定日】 実施許可日</p>
④試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	富山大学附属病院 山本善裕
⑤提供する試料・情報の取得の方法	対象症例の情報は、電子カルテ、放射線情報システム（RIS）、画像保管システム（PACS）、透析記録など既存の診療記録から後ろ向きに収集します。
⑥利用する者の範囲	富山大学附属病院 放射線部 鳴戸規人
⑦試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	富山大学附属病院 放射線部 鳴戸規人
⑧研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨	<p>研究対象者に関する試料・情報を当該研究に用いること（他の研究期間への提供も含む。）に対して、拒否をご希望される場合や研究資料（研究計画書及び研究の方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲で入手・閲覧を希望される場合は、以下の窓口へご連絡ください。</p> <p>電話番号：076-434-7326 FAX：076-434-5031 E-mail：naruto@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名：富山大学附属病院 放射線部 鳴戸規人</p>